

ベルマーク新聞 2月号

発行 公益財団法人 ベルマーク教育助成財団 東京都墨田区両国3-25-5 JET両国ビル9階 〒130-0026 電話 03-5638-2320(代表)
郵便振替口座 00100-7-56035 ホームページ <https://www.bellmark.or.jp/>

基本の動きを正しく身につけよう

大阪市立鳴野小で「ミズノ・走り方教室」



①習ったことを意識して走ってみよう ②スタートダッシュは、頭で考えずに自然と構えられるように ③コーチふたりへの質問タイム

大阪市城東区の市立鳴野小学校（崎本靖朋校長、児童 542 人）で 11 月 7 日、走り方教室が開かれ、6 年生 75 人が授業を受けました。45 分授業を 3 組分実施し、子どもたちはクラスごとに校庭で走り方を学びました。この教室は、ベルマーク財団のソフト事業「教育応援隊」のプログラムのひとつで、協力会社のミズノとの共催です。

コーチはミズノスポーツサービスの古川諒人さんと麻原和弥さん。「りょうコーチ」こと古川さんは複数の種目に取り組むマルチスポーツの経験者です。走り方教室を通して子どもたちに伝えたいのは「正しい基礎を教わったあとに、継続することの大切さ」です。一方、「かずコーチ」こと麻原さんの得意種目はサッカー。「走るのが苦手な子たちの苦手意識を取り除けるように、走るのが好きな子たちにはより一層、早くかっこよく走るという目的を考えながら取り組んでもらえる

よう、走り方の基本を伝えていきたい」と授業前に話してくれました。

最初に授業を受けたのは 6 年 2 組です。コーチふたりの自己紹介のあと、まずは準備運動から始まります。四隅に置かれた黄色いコーンの中で、友達とぶつからないように早歩き、後ろ向きの早歩き、スキップ、後ろ向きのスキップをし、体をあたためました。

体がほぐれてきたところで、25m のレーンに移り、いよいよ「走り方」を学びます。走り方の大前提は正しい姿勢。1 本目は姿勢を整え、まっすぐ前を向いて早歩きをしました。きれいに歩こうとすると、自然と腕を使うことになり、足を前に出すだけではないことが分かります。2 本目のスキップでは、腕に加えて、つま先を意識します。3 本目は手を挙げたままスキップ。りょうコーチが「手を使えなくすることで上半身のバランスをとるのが難しくなります。じゃあ体を安

定させるために、どこに力を入れたらいい？」とたずねると、子どもたちから「おなか！」と答えが返ってきました。「大正解。難しい言葉で『体幹』といいます。ぐっと力を入れることが大切」とりょうコーチは解説しました。

正しい姿勢が身についたら、ふたつのポイントを教わります。手の振り方とスタートダッシュです。腕振りの練習をするときは、おなかにまな板を置いて、ものを素早く切るイメージをします。友達とペアになって、肘を後ろに引きながら、テンポよく振る練習をしました。

続いてスタートダッシュ。「よいー」の合図で、前足と逆の腕を瞬時に出す練習です。スタート時に頭で考えていると、出遅れてしまうからです。そして、後ろ足の位置は足 1 個分のスペースをあけること。その都度考えなくても構えられるように繰り返し練習しました。

次に 3 組が、最後に 1 組が授業を受

けました。3 組は授業のまとめとして、クラス全員とコーチふたりが一斉に走ることにチャレンジ。1 組では、児童からコーチに「ラグビーをやったときと習った走り方が違いました。どっちが正しいですか？」という質問が出ました。りょうコーチは「50m 走とラグビーは走る目的に違いがあります。ラグビーは低い前傾姿勢になって相手に突進する必要があるけれど、50m 走のときは前のめりだとスピードが落ちてしまいます」と答え、50m 走では姿勢が大切だと改めて伝えました。

「今日は走り方の基本を教えました。習ったことを思い出して、練習を継続してください。やってくれますか？」との問いかけに、「はい！」と元気に答えた子どもたち。走り方の基礎を学んだことで、もっと速く走ることへの関心を得られたようでした。

日本人学校4校を支援

2024年度、予定していた支援が完了

ベルマーク財団は 2024 年度、4 校の日本人学校を支援しました。アメリカの西大和学園カリフォルニア校附属幼稚園、イタリアのミラノ・グローバル・ラーニング・アカデミー、イギリスの北東イングランド補習授業校、インドのニューデリー日本人学校附属幼稚園です。それぞれの学校が希望する備品や教材を贈りました。内容は、

日本語の絵本や竹馬、パソコン、色鉛筆、知育パズルなど多岐にわたります。

海外にある日本人学校への支援は 1991 年度から実施し、これまでの支援校数は 282 校になりました。

今年度は、全国のへき地学校 100 校、特別支援学校 40 校、日本人学校 4 校、3 つの院内学級に希望の備

品や教材を、岩手・宮城・福島 3 県の東日本大震災被災校 106 校に希望の備品やバス代を贈りました。合計 253 校への支援は、参加団体の皆さんの活動と、財団に届く寄贈マークなどによって実現できました。ご協力いただいている皆さんに感謝申し上げます。財団はこれからも子どもたちへの支援活動を続けてまいります。

支援先の学校からのメッセージ、次々と

へき地校

バキュームクリーナー、ニュースポーツ用具などの備品・教材を希望したのは**留萌市立東光小学校**。「子どもたちが教材を楽しく使っている様子を見てもらえたら」との理由から、休み時間に室内カーリングで遊んでいる姿を先生が撮ってくれました。「どちらも今まで学校になかった新しい教材です。このような教材を寄贈いただき、ありがとうございました」とコメントを寄せてくれました。



熊本県の**球磨村立球磨清流学園**から届いた写真に写っているのは、国語の勉強をする1年生。机の中央に置いてあるのが、今回の支援で、同校が希望した「めもりタイマー」です。残り時間を数字だけでなく、バーで表示させることができます。「児童自身が時間を意識しながら課題に取り組むことができるようになってきています」と先生が子どもたちの様子を教えてくれました。



液晶テレビを活用している風景を写した写真が届きました。「これまで、2年生の教室にだけ備え付けのテレビがなく、授業のたびに移動させていました」と振り返るのは、大分県の**国東市立国見中学校**の校長先生。もうその必要はなくなりました。ICT機器を活用した授業に力を入れていることから、とてもありがたく感じたとのことでした。他に、ハンズフリー拡声器も寄贈しました。



和歌山県の**古座川町立三尾川小学校**から、備品を持ってポーズを決めている子どもたちの写真が届きました。今回の支援で、万国旗、空気清浄機、デジタルカメラを希望しました。空気清浄機を選んだ背景を、「へき地の極少数人数校のため、一人の欠席が学習活動や学校活動に大きな影響を与えてしまいます」と校長先生。大いに活用し、子どもたちや職員の健康を守りたいとのことでした。



徳島県の**三好市立東祖谷中学校**の先生が撮ってくれたのは、生徒がボッチャをしている姿です。以前からボッチャで遊ぶ機会はあったそうですが、道具がなく、新聞紙を丸めたものを使っていました。「今回寄贈していただいたことで、生徒の間でボッチャブームが起きています。生徒対教員の試合はとても白熱します」とのこと。喜んでもらったことが伝わってきました。



長崎県の**対馬市立豆蔵中学校**から届いたのはモバイルプロジェクターの活用の様子を写した写真です。サイズが小さくて軽く、持ち運びやすいモバイルプロジェクター。早速、3年生の国語の授業や、全校生徒が総合的な学習の時間でプレゼンテーションをするのに活用されました。「映し出される画像はクリアで文字や写真ははっきり見ることができます」と先生は話しました。



コートブラシを使ってグラウンドを整備する、黒板拭きをクリーナーできれいに保つ、大勢の生徒にハンズフリー拡声器を使って説明する、タイマーを使って時間内に問題を解く……。熊本県の**上天草市立龍ヶ岳中学校**から4枚の写真が届きました。寄贈品を活用している姿です。「長年使っていたものが古く、そろそろ買い替えの時期だと思っていました」と先生は話してくれました。



生徒たちの目線の先にある液晶テレビと、それを支えるディスプレイスタンドが今回寄贈した品物です。写真は、広島県の**三次市立作木中学校**から届きました。「テレビの台数がなく、ひっぱり合いだった」と振り返るのは教頭先生。体育館にあるテレビを理科室に持っていき、使い終わったら体育館に戻すといった具合に移動させる必要がありましたが、今回の寄贈で不便さが解消されました。



鹿児島県の**薩摩川内市長浜小学校**から、パネルシアターを使っている写真が届きました。パネルシアターは、布のような感触の大きなパネルに人形などの素材を貼り付けることができる教材で、音読劇の授業に活用できます。先生は選んだ理由を「子どもたち自身が背景を設定したり、登場人物を動かしたりできます。協力して読み上げる活動ができるように希望しました」と教えてくれました。



青森県の**佐井村立牛滝小学校**に、財団から贈ったのは拡大印刷ができる大判プリンターです。「とても小さな学校で予算にも限りがあり、整備が難しい状況でした」と先生。写真に収められているのは、総合的な学習の時間に牛滝地区の神楽についてまとめ、その資料を印刷している場面です。「自分たちが作成した資料が大きく拡大されて出てくる様子を見て、大変喜んでいました」といいます。



北海道の**雨竜町立雨竜中学校**は、大判プリンターを贈った学校です。写真には、プリンターで拡大印刷した大きな用紙を持っている生徒の姿が写っています。同校では受験を控えた3年生を応援しようと、生徒会が応援プロジェクトを企画。「桜の花の形に切り取った画用紙に応援メッセージを書き、それを大判プリンターで印刷した木に貼り付けて廊下に掲示するプロジェクト」だそうです。



財団ホームページでは
各校の特色をより詳しく
ご紹介しています
ぜひご覧ください!!



特別支援学校

京都府立井手やまぶき支援学校が希望したのはサイバーホイール。透明の大きな筒に入ると、回転するつくりになっていて、室内でも全身を動かすことができます。バランスをとろうと体が自然と動くことから、遊びながら運動感覚を養える教材です。

「透明で、周りを見ながら入ることができ、子ども自らが回転させながら遊んでいる。中に入っている玉がバランスをとる目安となり、鈴の音も楽しめている」とのことです。



愛知県立豊田高等特別支援学校は、一般企業等への就労を目指し、職業教育に重きを置いています。製造業への就職が多く、中でも最近では「清掃」作業をする機会が増えているそうです。「これまでは掃き掃除がメインでしたが、ここ数年でスティッククリーナーを使う事業所が増えました。対応できるようにするため、学校でも清掃時間に生徒が使わせたらどうかという声が出ていました」と選んだ背景を先生が説明してくれました。



院内学級

熊本県立熊本かがやきの森支援学校江津湖療育医療センター分教室から、「巧技台」を使っている写真が届きました。今年度の院内学級支援校のひとつです。

巧技台は、運動の目的に応じて、パーツをアスレチックのように組み立てられる教材です。「ダイナミックに体を動かす学習をしたいと考え、すべり台型に組み立てた」そうです。「滑る感覚や体の傾きを感じながら楽しく体を動かすことができた」とのことでした。



東日本大震災被災校

福島県の川俣町立山木屋中学校の生徒会長(2年)からのメッセージには「穴開けパンチは今まで使っていたものが古く、穴が開かなかったこともありました。今ではずれず穴を開けることができます」と書かれていました。

原発事故による避難指示が山木屋地区に出されてから、別の地区に学校機能に移していた同校。2017年に避難指示が解除され、2018年から元の場所で学校が再開しました。このような経緯から、地域住民と一緒に教育活動を進めていくことには大変な重みがあります。毎年実施している追悼集会について、校長先生

は「3月11日だからという表面的な理由で集会を開くのではなく、『山木屋に学校があることが地域の皆さんの力になっている』ということを生徒に強く伝えていきたい」と話してくれました。



福島県の榎葉町立榎葉中学校に贈ったのは、賞状盆、スクールタイマー、コンパクトミシンです。

榎葉町は原発事故で、全町民が避難を余儀なくされました。榎葉中は約1年間の休校を経て、2012年4月にいわき市内の仮設校舎で授業を再開。震災から6年経った2017年4月、榎葉町に戻りました。同時期に地元に戻った榎葉南小・榎葉北小(2校は統合し、現在は榎葉小)は、2022年3月まで榎葉中の校舎を借りて、学びを共にしました。その間、学校の備品は小中学校で共有して使っていたそうです。

同年4月に榎葉小が開校するにあたり備品を整理したところ、足りなくなったのが、今回の支援で贈った品物でした。中でも、スクールタイマーは特に役立ったようです。



短い時間での上達ぶりに大きな拍手

一輪車講習会、9月から10月にかけて5ヵ所で

財団のへき地校支援事業「一輪車講習会」が9月から10月にかけて計5ヵ所で開かれました。

まず、9月2日に開かれた熊本県水俣市の市立久木野小学校(田尻則幸校長、児童13人)での講習会。全国や世界大会での優勝経験を持つ鈴木奈菜さんと小木真由子さんが指導しました。小木さんが模範演技としてタイヤ乗りやスピンなどを披露すると、児童たちは食い入るように見つめていました。

講習会では、初めに一輪車に乗る姿勢を教わりました。続いて、習熟度に応じた2つのグループに分かれて練習。うまく一輪車に乗れない児童も、講師や先生に手を助けてもらい、少しずつ前に進む距離を伸ばしていきました。短い時間でどんどんうまくなる姿に先生たちからも「すごい」と声が漏れました。



9月18日は愛知県豊田市の市立新盛小学校(平岩英明校長、児童23人)です。講師は山本夏夢と小木さん。同校には独自の「プロ」まで16のレベルを設けています。1年生も一輪車に乗ることができ、5月の運動会では全員で一輪車の演技を披露しました。もっと難しい技にチャレンジしたい児童たちはトップレベルのインストラクターが教えてくれる講習会を心待ちにしていました。



メリーゴーランドや跳び乗り、蹴り上げ乗車、グループ演技などと、多くの技に挑戦しました。最後に全校児童で集まり、代表の児童がこの日練習した技をみんなの



㊤みんなで手をつないで ㊦乗車の基本姿勢は、背中をまっすぐに(どちらも豊田市立新盛小)

前で披露しました。上達ぶりに拍手が起こりました。

愛媛県宇和島市の蔦淵(和田幸久校長、児童3人)、結出(信藤明秀校長、児童3人)、三浦(高野良二校長、児童13人)の市立小学校3校合同の講習会が開かれたのは9月20日。佐藤彩香さんと橋本あんずさんが講師となり、子どもたちは休憩を忘れそうになるほど熱心に練習に取り組みました。

佐藤さんは「本当に暑い中でしたが、みんな一生懸命なので教えがいがありました。これからも少しずつでも練習を続けてください」、橋本さんは「難しそうな技も諦めず、ゆっくりで良いので毎日トライしてみてください」とアドバイスしました。



10月7日に開かれたのは、広島県三次市の市立川西小学校(平田雄三校長、児童26人)での講習会。講師を務めた橋本さんと山本さんの「暑くてすぐに汗をかくので、少しでもキツイと思ったら休憩をしてください」との声かけにも、最後まで休憩時間を待ちきれずに練習



を続け、「あきらめないで!」とお互い声をかけあう姿が印象的でした。

最後は10月17日、鹿児島県さつま町の町立薩摩小学校(永田奈美校長、児童62人)です。なんと、校舎に入るとパネルがお出迎え。「佐藤彩香さん おじゃったもんせ!!」(鹿児島弁で「いらっしゃいませ!」)と「橋本あんずさん Welcome」の言葉に講師2人は大喜びでした。講習会では質問タイムも設けられ、「一番難しい技は?」「一輪車で何メートル進めますか?」などと質問が続き、積極的な姿勢が見られました。



プリンター代替品とデジカメのご案内／東通産業

協力会社の東通産業がお買いものガイド2024年度後期号(No.127)に掲載している、エプソン製のインクジェットプリンター「EP-886AW」と「EW-M754TW」の販売が終了しました。これに代わる商品として、「EP-887AW(税別47,000円)」と「EW-M757TW(税別55,500円)」をご案内しています。

なお、「EP-886AW」の対応カートリッジはKAM(カメ)からKNI(カニ)に変更されているのでご注意ください。

「EW-M757TW」の対応OSはWindows7以降に変更になり、WindowsXPとWindowsVistaには対応していません。



㊤EP-887AW ㊦EW-M757TW



続いて、おすすめ商品のお知らせです。いつもポケットに入れて持ち運べるコンパクトさが特長のデジタルカメラ「KC-AF11」は、日常の景色を気軽に撮れる500万画素のデジタルカメラで、校外学習に持っていくのにちょうどいい大きさです。価格は11,200円(税別)です。お問い合わせは、東通産業(0120-129-102)まで。



大台達成校

1月		
会瀬小	茨城県日立市	3,006,648
網干小	兵庫県姫路市	3,013,022
木太北部小	高松市	3,012,387
箕郷東小	群馬県高崎市	2,017,624
阿知須小	山口市	2,033,630
金沢小	千葉市緑区	1,002,085
子母口小	川崎市高津区	1,024,115
岐阜本巣特別支援学校		
岐阜市		1,041,228

読んでみたい本 児童文学評論家・藤田のぼる

絵本

『カレーライスだいすき』（菊田澄子・作、いわさきまゆこ・絵、金の星社）

表紙に、おいしそうなカレーライスの絵。そして、直球のタイトルのままだに、まずはにんじんとたまねぎを切って、ジャガイモも切ったら、お肉と一緒に炒めて……と進んでいきます。レシピというほどでもない、誰もが知っているカレーの作り方。でも見ていると、なんだか楽しくなるのです。お腹が空いてくるような、満腹感が味わえるような、不思議な絵本です。（低学年から、1400円＋税）



『てなにしてるの?』（みやにしたつや作・絵、金の星社）

最初のページは、二本の指で挟んだボールに、「てなにしてるの?」。開くと、左ページに、バッターに投球しようとしているピッチャーの姿。右ページには、4本の弦の上の右手に「てなにしてるの?」。開くと、ミュージシャンがギターを奏でています。全編この繰り返して、「答」がすぐわかるのとわからないのも。自分の体の一部なのに、こんなにあれこれ「活躍」している手。確かに「なにしてるの?」と問いかけてみたくなってきました。（小・中学年以上向き、1350円＋税）



『ミツツボアリをもとめて』（今森光彦・著、偕成社）

昆虫をメインの被写体として活躍する著者が、アボリジニの家族のミツツボアリを探す旅に同行した写真絵本。ミツツボは蜜壺、貴重な



「甘いもの」です。旅は数日に及び、夜は砂の上で寝ます。岩だらけの大地の中のさまざまな発見。そして掘り当てたミツツボアリの、蜜で一杯になったビー玉のような体が並ぶ地下の写真には、息をのみます。今回紹介したい写真絵本が何冊かありましたが、「こんな世界があるんだ」という驚きで、これを選びました。（高学年以上向き、1600円＋税）

低・中学年向け

『リリの思い出せないものがたり』（たかどのほうこ・作、高橋和枝・絵、ポプラ社）

2年生のリリが、おばあちゃんの家の庭のクロスグリの木の下に来るたびに、何か楽しい思い出があるような気がしつつ、それが思い出せない……というもどかしさが、まずは基調になります。おばあちゃんの家には離れがあり、おばあちゃんの古い友だちのフサ子さんが、自宅の改築の間ここに滞在することになります。そのフサ子さんが、書きかけの「水玉ハンカチのものがたり」を読んでくれ、このお話が最後にリリの思い出に着地するのです。「お話の中のお話」が、「お話」に重なってくるといふ、不思議な展開に心が奪われます。（低学年以上向き、1400円＋税）



『ふみきりペンギン』（おくはらゆめ作・絵、あかね書房）

これも独特の構成で、第一話は本のタイトルと同じ「ふみきりペンギン」。左利きのゆうとがからかわれた思いをひきずりながら踏切の前に立っていると、



向こう側にペンギンが五匹並んでいて、「左手でえんぴつもつもの、ヘンじゃない」などというのが聞こえてきます。でも五匹目のペンギンだけは「みんなとちがって、かっこよくない」というのです。第二話からはリレーのように主人公が変わっていく中で、不思議なことでも信じられるのか、普通ってなんだろう……と、無理なく考えさせてくれます。上記の『リリの……』もこの本も、教室で少しずつ読んであげたい物語でした。（中学年以上向き、1300円＋税）

高学年・中学生向け

『呼人は旅をする』（長谷川まりる・作、mame・絵、偕成社）

「呼人（よびと）」というのは、主人公の名前ではありません。属性を表すというか、何かを寄せてしまう人を指す言葉で、6編からなる連作ですが、5人（5種類）の呼人と、その呼人を認定し支援する「呼人支援局」で働く人の話から成っています。第一話のあかりは「雨女」。冗談抜きで、あかりがいるところは毎日雨になってしまうのです。当然それではみんなが困るので、あかりは呼人支援局が見つけてくれたホテルやボランティアの宿泊先などを、10日ずつ移動してまわらなければなりません。子どもの頃からそうした生活を強いられる場合もあれば、大人になって発現する場合もあります。



という、ファンタジーというか、ややSF的な世界ですが、しかし読んでいると不思議にリアリティがあるのです。ネタバレにならないよう、寄せてしまう何かをもう一つだけ書けば「たんぼぼ」。雨ならともかく、たんぼぼならかわいくて

いいじゃん、とはいきません。

奇妙というか、意外性抜群の設定ながら、だからこそ明らかにされていく人と人とのつながりのもろさ、確かさ、温かさが胸に迫ります。（高学年以上向き、1500円＋税）

『世界に挑む！ デフアスリート―聴覚障害とスポーツ』（森竺こみち・著、ペリかん社）

今年の11月、第25回デフリンピックが東京を中心に開催されます。「デフ(Deaf)」は、「耳が聞こえない」という意味。つまり、聴覚障害を持つ人たちのオリンピックです。25回ということは、×4で100年。第1回のパリ大会が1924年ですから、ちょうど100年の記念大会なのです。今やすっかりおなじみになったパラリンピックが始まったのが1960年ですから、こちらの方がずっと古いわけです。一時は、パラリンピックとの統合も検討されたようですが、デフアスリートのハンディキャップは総じて小さいことなどもあり、独自の開催が続けられています。ただ、その分、認知度がまだまだでもあります。



ここでは、そうしたデフリンピックをめぐる歴史や、日本の代表的なデフアスリート8人のインタビュー、そして東京大会の開催種目などが紹介されています。もちろん大会運営にはさまざまな難しさがあるわけですが、それをどんなふうに乗り越えて公正な「競技」を成立させていくのか、関わってきた人たちの努力こそ、ドラマだなと感じさせられました。（中学生以上向き、1700円＋税）

ベルマーク寄贈者・友愛援助リスト(敬称略)

〈マーク寄贈者〉 12月21日～1月20日
▼北海道 石垣悠緒 古川尚子 渡辺郁美 浅井コズエ・川越郁 大須田悦子 加川精一 楊優佳 三井札子 札幌南高よろずや同好会 南洋子 浦野 北海コンノ急送(株)▼青森県 奥川順治 加賀 EMS 十和田(株) 太陽鋳油(株)大鰐弘前インターSS ▼岩手県 瀬川康子 チーム〔製〕 匿名希望▼宮城県 大丸彩子 小山由紀子 齊藤 畠山俊春 小野寺千佳 中川美恵子 身崎堅二 (株)ベルシステム24 石川知絵 ▼秋田県 阿部幸子 損保ジャパンキャリアビュロー(株)秋田事業所 鈴木薫 山本たつみ 伊藤ひろみ▼山形県 奥山俊 内山幸江 武田七星 原田恵子 匿名希望▼福島県 福島県ソフトテニス連盟▼茨城県 飯塚裕子 塩塚保浩 祐成恵美子 赤十字Eco&Cross奉仕団 中村綾子 八巻法子 河上こずえ 陣野道子 匿名希望▼栃木県 豊崎昭利 山本明美 箕輪あき子 匿名希望▼群馬県 立見和孝 (株)ワーキング・フレッシュ 日本ボデーパーツ工業(株)有志一同 野尻治江 スウィン館林スイミングスクール▼埼玉県 飯山綾 飯島 鈴木 石塚仁美 協和電機化学(株) 澤野宏 鈴木淳子 鈴木友則・矢野美祝 どんぐり文庫 濱本雅也 針替祐子 岩崎 澁谷孝子 田口飛翔 タワーバーカリー(株) 庭田佐智世 神口公子 村上真美子 匿名希望▼千葉県 旭市社協 石井光枝 大川善弘 川上晴美 関田元子 高島正子 (有)ウィズワタナベ 軽部美治 長島恭子 山田幸枝 梶原 鳴濱百香 田中義樹 東日本住宅(株)塩浜営業所 森靖之 八千代市立萱田南小▼東京都 市川佳世子 市川実貴子 江頭啓子 江口千枝 (株)日本旅行ビジネスクリエイト (株)ライブ 木村梨乃 小宮山恵理子 小山佐奈枝 齋藤啓子 杉本里美 高尾壽子 中央区立有馬幼稚園 野口晴代 森博之 AGC (株)電子カンパニー先進機能ガラス事業本部一同 板橋区立

小豆沢福祉園 小倉公美子 小澤恵子 (株)関東ディーゼルサービス (株)セブン-イレブン・ジャパン財務会計本部一同 神谷美也子 齋藤知子 酒井恵美 柴田倫枝 荘司進 鈴木広和 タナカタヒデノリ 田中史子 出嶋アサキ 寺田真人 生澤英彦 平塚山城官寺 福嶋政昭 堀川貴人 正内美雪 松井誠 三輪みどり 山内 吉江友秋 BB 団 J&X愛をささやく 上原弘之 大久保裕美子 (株)日本能率協会コンサルティング 小林理土 静恭子 田島京子 太刀川忠良 館野美智子 棚田由紀子 土谷和子 日本基督教団小金井緑町教会 花見久子 日向俊幸 吉田みどり 石塚佳奈 佐藤サリ 清水綾 筋田孝子 谷川雄介 西田初音 松山真美 メディアフォード(株) 横山郁子 渡辺泰子 ANAエアポートサービス(株)ランプサービス部 池田貴子 石井桂 大塚知子 高橋京子 中場裕一 東大和市立第二小PTA企画委員会 深野勇 三井住友トラスト総合サービス(株)管財事業部 宮田登紀子 岡本和子 日本生命保険(相) 医事研究開発室(東京) 松橋幸子 匿名希望▼神奈川県 伊藤美恵子 鈴木英一 星野崇 脇美津江 荒井ともみ 石川生子 金子慶子 桐生家族 楠初江 相模原の婆婆 櫻井千史 櫻井豊 島田英彰・島田操 三澤緑 山下陽子 山中久美子 横川洋子 tiniskanagawa 石井悦子 東芝エレベータ(株)神奈川支社 内藤智子 深澤よしみ 宮川節太郎・満子 四ツ橋准子 東芝プラントシステム(株)経理部・J-SOX 対応推進部 中谷孝子 山口篤子 井上扶美子 角倉ノリ子 中村佳子 中山朋美 匿名希望▼新潟県 (有)ナカムラ自動車整備工場 大竹雅子 田辺美香 鈴木京子 樋山朝恵 中村幸子 藤本寧子 星野さい子▼富山県 仲田▼石川県 山下由久栄▼山梨県 駿台甲府高▼長野県 鶴田智子 塩澤夏江 塚田康子 東芝軽井沢保養所 山本史 西澤順子 松本市立清水小 横谷貴

子 岡田裕貴 百瀬雅子▼岐阜県 高木操 高田登茂子 木田まり子 小野真衣 県立飛騨高山高田南キャンパス生徒会 熊谷▼静岡県 足立恵 畠中将也 柴田雪帆 アイスター商事代理店杉山美千子 匿名希望▼愛知県 宇佐美千波 (株)ホットスタッフ 後藤五輪美 齋藤丸枝 永木佳子 牧野美沙紀 松永尚登 SOMPO コーポレートサービス(株) 岡田哲 小野琳 (株)名鑑 椎路子 長江政則 はあと薬局 加藤彩加 (株)フジトランスコーポレーション 積水ハウス建設中部(株) 田中なおみ 小林重則 (公財)名古屋YWCA 渡辺設備(株)▼三重県 柴田喜健 川村佳子 匿名希望▼滋賀県 榎並谷聖子 狩野朋子 西田裕紀 外川嘉壽博 小室風左 水崎フェイ 岡崎礼子 内藤沙耶 匿名希望▼京都府 奥田和佳子 西村知恵 西川美江▼大阪府 府立北摂つばさ高 大場さやか 北浦雅生 西田菜穂子 深澤美穂子 村井公子 村上攝 伊川かおり 川瀬豊子 東芝エレベータ(株)関西支社 中谷昭 ボーイスカウト堺第九団 松岡秀明 三井住友信託銀行難波支店 内川 参河江美子 川村多恵子 キヤノンITソリューションズ(株) 塩崎知江 津田雅之 明治フレッシュネットワーク(株)近畿支社 安齊 田原真紀 細川京子 明治安田生命保険(相)大阪公法人部 匿名希望▼兵庫県 坪田由美子 西村都子 J.S. 澁野かず子 西村裕子 橋本伊津子 廣田啓子 三浦孝 三原崇 山崎 久保奈保子 高田トシ子 西山鈴代 畑中一省 清水幸代 八木るり子 森次一恵 若林節子 川上和泉 東田ゆき NPO法人宝塚高次脳障害者共生の会 地域活動支援センターWakaba 匿名希望▼奈良県 寿村瑛子 裏久保美奈子 匿名希望▼鳥取県 永原千恵 匿名希望▼島根県 丹波恵美子 湯浅彌文 横山正紀▼岡山県 鳥越多美子 石堂美宙 小島日出男▼広島県 砂川亜紀 金田絵梨 トヨタカローラ広島(株)福山支店 松

尾真希 広島なぎさ中・高ボランティア部 匿名希望▼山口県 北村純子 竹永 山田美樹▼徳島県 高木透▼香川県 谷川裕樹 リリーブユウ(株)▼愛媛県 ベルボラ愛媛 東芝ライテック(株) 新宮公民館▼高知県 武市親典▼福岡県 石坪洋子 重松さおり 藤まさみ 大庭英治 佐伯節子 富田徹 中尾優子 馬場邦子 村本和美 壁村正實 入江佐智子 西阪 平地三重子 トヨタカローラ福岡(株)新宮店 大庭由美子 匿名希望▼佐賀県 檜崎相 三根和美 南里勝巳▼長崎県 久保山繁樹▼熊本県 和田芳典 橋口響 松浦浩子 磯部恭子▼大分県 井上義雄▼宮崎県 福田貴夫▼鹿児島県 明治安田生命鹿児島営業部・かごしま骨髄バンク推進連絡会議・薩摩小・かごしまボランティアセンター・A コープ・山口浩クリニック・四元皮膚科・鹿児島信用金庫・本願寺鹿児島別院・ガールスカウト鹿児島県連盟・かごしまベルマーク運動推進の会・カフェギャラリーあがってん 薩摩黒温泉山華 谷口桂子▼ 早川澄子 GoldWing 兎羽 寺西明美 まどんなロッソ 伊達直人▼無記名＝127件

〈友愛援助申し込み〉 1月1日～1月31日
◆埼玉県 加治小(飯能市)◆東京都 西町インターナショナルスクール(港区) 馬橋小(杉並区) ひばりが丘中(西東京市)◆神奈川県 大谷戸小(川崎市中区) 麻溝小(相模原市南区) 清泉女学院中高(鎌倉市)◆静岡県 オイスカ浜松国際高(浜松市中央区)◆愛知県 天使幼稚園(豊山町)◆滋賀県 青山中(大津市)◆大阪府 清香学園幼稚園(枚方市)◆山口県 良城小(山口市) 萩光塩学院高(萩市)◆大分県 豊府小(大分市)◆沖縄県 小禄小(那覇市)

〈寄付(現金)〉 12月21日～1月20日
▼福井県 匿名希望▼大阪府 匿名希望▼福岡県 匿名希望